



圏外対応

電波がなくても、なんとかします。

山あい、河川敷、広い圃場。飛ばす場所ほど電波は弱いものです。圏外でもアプリは開き、飛行日誌はふだんどおり書けます。機体と飛行計画は、前に見たときの控えが残ります。



1

日誌は、電波を使いません

飛行記録・日常点検・点検整備は**端末の中だけで動きます**。離陸ボタンも書き出しも、圏外のまま使えます。

端末内で完結

様式1~3

2

前に見た内容は、残ります

機体と飛行計画は端末に控えが残ります。許可承認番号も飛び範囲も現場で確かめられ、いつ見た内容かも出ます。

控えを表示

最終確認日を表示

3

通報だけは、電波が要ります

DIPSへ登録する操作なので圏外では行えません。**あとで送る仕組みも持ちません**。飛ばす前に済ませてください。

通報は要通信

ほかにも ● 圏外でもサインイン画面に戻らない ● 電波が戻れば引っ張って更新 ● 出かける前に一度開くと控えが揃う

まずは**無料**で。
Proでも**月額100円**。

無料の範囲は**機体2台・通報20回まで**。PDF出力は無料でも使えます。
Proにすると機体の登録台数・飛行日誌・通報回数が**すべて無制限**に。



App Store へ

ご利用にあたって／本アプリは国土交通省が提供する公式アプリではありません。DIPSとの連携機能のご利用には、国土交通省 DIPS2.0 のアカウントが必要です。飛行日誌の機能はアカウントなしでもご利用いただけます。通報操作を行うとDIPSの本番環境に飛行計画が実際に登録されます。画面はすべてサンプルデータによる表示例です。